

I - 1 令和6年度 重点目標

重点目標1【生活指導】 人を大切に作る心、ものを大切に作る心をもって行動する子を育てる。	
具現化のための方策	<ul style="list-style-type: none"> ○山崎太鼓・舟形交流・山崎和紙の「<u>山崎三本柱</u>」を生かした<u>情操教育</u>を推進し、児童一人一人が伝統を大切にし、誇りをもって伝え合う活動を重視する。 ○なかよしタイム、スポーツ祭り等の<u>異学年交流活動</u>を通して、上級生が下級生を思いやり、下級生は上級生を目標とする気持ちを育む。また、校外学習や遠足、各教科の授業等での特別支援学級との交流では、<u>多様な個性を認め合い、共に育つインクルーシブ教育の充実</u>を通して、人及びものを大切に作る思いやりをもって行動できるようにする。 ・本校の<u>学習・生活スタンダード「やまざきの子」</u>を基盤とした週目標を掲示し、毎月4週目は各学級で目標を設定できるようにすることで、児童がよく考え秩序ある学校生活を送ることができるようにする。
重点目標2【教務】 主体的に健康な体をつくる子を育てる。	
具現化のための方策	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>学期に1回「山崎スポーツ祭り」</u>（運動会、短距離走・リレー大会、長縄大会）を行い、必然性をもって健康な体づくりをすすめる。 ・スポーツ祭りの前月に、<u>スポーツ祭りと連動した体づくり週間</u>を実施する。 ・給食担当、栄養士、保健給食委が中心となり、児童や家庭に向けて<u>食育に関する情報発信</u>する（集会、給食アンケート、校内放送、学校HPなど）。 ・<u>晴れの日</u>は<u>外遊びを推奨</u>する。集会のない水曜日は朝遊びの時間とすることで、すすんで体を動かす時間、場所、機会を十分に確保する。
重点目標3【研究推進】 よく考えて表現する子を育てる。	
具現化のための方策	<ul style="list-style-type: none"> ○「必然性のある問いやしかけ」「共感・協働場面の設定」「学びを生かしたアウトプット」をキーワードとした「<u>探究的な学び山崎スタイル</u>」の視点で授業づくりを行い、「<u>探究的な学び</u>」の<u>サイクル</u>を研究する。探究的な学びの視点で「よく考えて表現する子」の育成を図り、年間を通して行う。 ○全校の学びにおいて、自分の考えを表現（アウトプット）する活動を様々な場面で取り入れる。 ・表現（アウトプット）する活動のゴールの1つとして6年生の<u>全校朝会スピーチ</u>の取組を行う。 ・4～6年生は年に1回以上、国語や教科「日本語」の読書単元を使って<u>ビブリオバトル</u>を行う。各学級の優勝バトラーは、学級を代表して全校朝会の時間で全校児童に向けて本の紹介をする。 ○DX 推進に基づき、様々な場面において<u>タブレット端末を活用</u>しながら、「<u>個別最適な学び</u>」と「<u>協働的な学び</u>」の<u>実現</u>を図り、よく考える子を育成する。